opusdei.org

## 聖ホセマリアの生涯 -50

前回紹介したモンクロアの事件の翌年、新学年が始まって間もない頃、寮で働いていた数人の女性たちがやめるという事件がありました。

2024/06/07

## 過去の記事はこちらから

オプス・デイのセンターの家事一般 を受け持つ管理部がその仕事を専門 的なレベルにするには時間がかかり ました。それは特に適当な設備と必要な経験が欠けていたせいです。

ドラはまったく気が進みませんでしたが、シスターへの義理のため一週間だけのつもりでモンクロアに現れました。早速仕事に取りかかりました。仕事場をざっと見て、すぐにその仕事の多さと職員の不足を見抜きました。この大変な状況の中で喜んで働く管理部の女性たちの姿に心を

打たれました。しかし、次の日曜日、この仕事をやめるとシスターに伝えに行きました。シスターはもう一週間続けるよう励ましました。これが何度も繰り返され、結局ドラはずるずると仕事を続けることになりました。

当時の管理部の責任者はこう言います。「ドラは本当によく働きました。アイロンかけ、クリーニング、裁縫を完璧にこなし、その掃除の仕方は文句のつけようがありませんでした。料理の腕前も一流で、立ち居振る舞いには気品がありました」。

ドラが寮に残ったのは、結局そこで働いていた管理部の女性たちへの同情と、聖ホセマリアへの尊敬だったようです。神父が学生寮に現れ、初めて話しを聞いたとき、神父の喜びに溢れた姿に、また「この上なくをんでいなさい。あなたたちはみんな神に愛された娘なのだから」という

言葉に強い印象を受けたと後に言っています。

こうしてドラはもう一人の女性とと もに1946年3月にオプス・デイの女性 ンバーになりました。この二人は 理部の仕事を専門にする最初のかったのです。 聖ホンバーになったのです。 聖ホレーになったのの最大の側のかった。 また例のでする もしていました。 また例の忘れ が、その創立者の列福式の際、にお 会の本部にお土産をもってお祝いた その本部にお生産をもってお祝い年 はこれをです。 にいま列福調査が 始まっています)。

## 尾崎明夫

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/sei-josemaria-50/ (2025/11/21)